

# 2021年射手 松元結希の挑戦

国見中学校2年生の松元結希君は、8月7日に流鏝馬保存会から依頼を受け、正式に射手に任命されました。

国見中学校から射手が出るのは、平成12年以来21年ぶりです。

父親の竜二さんは、「ケガだけないように、頑張ってもらえれば」と結希君を応援しつつ、「皆さんにご迷惑をおかけしないように頑張ります」と緊張した面持ちで語りました。

## ○挑戦の始まり

9月5日、旧大隅線跡で本番に向けての安全祈願と初練習が行われ、結希君の挑戦が始まりました。



▲ 初めて手を離して走らせた練習



▲ 本番直前最後の練習



▲ 少しづつ距離を縮めていきます

初日は後射手の晋賀君の後ろに並んで馬を歩かせました。

歩かせた後は、馬に人參をあげたり、頭をなでたりしてだんだんと距離を縮めていきました。

初練習の後、結希君は緊張で少し疲れた様子でしたが、後射手の晋賀君の馬に乗る後ろ姿を見て「かっこよかった。自分もあんなふうになりたい。」と目を輝かせながら語ってくれました。

また練習後、四十九所神社に戻ってから保存会の前で、少々



▲ 早朝から馬場づくりや的づくりを行います

緊張しながらも結希君は「バストを尽くして頑張りたい。」と意気込みを語りました。

また、晋賀君は「去年以上の流鏝馬となるように後射手として結希君をサポートしていきたい。」と意気込みを語りました。

## ○流鏝馬を支える人

流鏝馬は、ほぼ毎日練習を行います。その間毎日綱持ちなどにたくさんの人が協力します。

神馬となる「流星号」「ミライ号」は、釘田義人さんが流鏝馬に向け、大切に管理しています。

また、的づくりや馬場づくりは早朝から大勢で協力して行います。

たくさんの方の支えによって今日まで引き継がれてきました。



一本松のような  
強い意志で  
元気一杯29人の  
虹色の絆を結び  
未来への  
希望の矢を放て!!